

入 札 説 明 書

令和 5 年度
阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内
施設維持管理等業務

[全省庁共通電子調達システム対応]

環 境 省

北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所

は じ め に

本令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務の入札等については、会計法（昭和 22 年法律第 35 号）、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）、契約事務取扱規則（昭和 37 年大蔵省令第 52 号）、その他の関係法令及び環境省入札心得（別紙）に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1. 契約担当官等

分任支出負担行為担当官

北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所長 川越 久史

2. 競争入札に付する事項

- (1) 件名 令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務
- (2) 特質等 別添 2 の仕様書による
- (3) 納入期限等 令和 6 年 3 月 31 日
- (4) 納入場所 北海道釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 4 階
北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所
- (5) 入札方法
落札者の決定は、最低価格落札方式をもって行うので、
ア. 入札者は、業務に係る経費のほか、納入に要する一切の諸経費を含め契約金額を見積もるものとする。
イ. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 10% に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数がある時は、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の 110 分の 100 に相当する金額を記載した入札書を提出しなければならない。
- (6) 入札保証金及び契約保証金 免除

3. 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第 70 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令第 71 条の規定に該当しない者であること。
- (3) 北海道地方環境事務所から指名停止措置が講じられている期間中の者でないこと。
- (4) 令和 04・05・06 年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の「建物管理等各種保守管理」において、開札時までに「B」、「C」又は「D」級に格付されており、北海道地域の競争参加資格を有する者であること。
- (5) 環境省入札心得において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約できる者であること。

4. 契約条項を示す場所等

(1) 契約条項を示す場所

〒085-8639 北海道釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 4 階
北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所 総務課
電話 0154-32-7500 F A X 0154-32-7575

5. 入札参加表明及び入札に関する質問の受付

- (1) 本件入札に参加する意思がある者は、次に従い、別記様式 1 の入札参加表明書及び環境省競争参加資格（全省庁統一資格）審査結果通知書の写しを提出すること。また、この入札説明書、仕様書等に関する質問がある場合も、次に従い書面（様式は任意）により提出すること。

提出期限 令和 5 年 3 月 20 日（月） 15 時まで
（持参の場合は、12 時から 13 時を除く）

提出場所 4. (1) の場所

提出方法 持参、F A X 又は電子メール（NC0-KUSHIRO@env.go.jp）によって提出すること。

- (2) (1) の質問に対する回答は、令和 5 年 3 月 20 日（月） 17 時までに入札参加表明者全員に F A X 又は電子メールにより行う。

6. 競争執行の日時、場所等

- (1) 入札・開札の日時及び場所

日時 令和 5 年 3 月 23 日（木）15 時 30 分
場所 釧路地方合同庁舎 第 3 会議室
北海道釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 4 階

- (2) 入札書の提出方法

ア. 電子調達システムによる入札の場合

5 (1) の日時までに、環境省入札心得に定める様式 2 を電子調達システムにより提出した上で、入札書を同システムにより令和 5 年 3 月 23 日（木）15 時 29 分までに提出するものとする。

イ. 書面による入札の場合

環境省入札心得に定める様式 3 による書面を 5 (1) の日時までに持参又は F A X により提出した上で、環境省入札心得に定める様式 1 による入札書を (1) の日時及び場所に持参すること。入札書を電話、F A X、郵送等により提出することは認めない。なお、入札書の日付は、入札日を記入すること。

ウ. 入札者は、その提出した入札書の引換え、変更又は取消しをすることができない。

- (3) 入札の無効

本入札説明書に示した競争参加資格のない者又は入札条件に違反した者の提出した入札書は無効とする。

7. 落札者の決定方法

- (1) 有効な入札書を提出した入札者であって、当該入札者の入札価格が予算決算及び会計令第 79 条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であり、かつ、最低価格を

もって入札を行った者を落札者とする。

8. 暴力団排除に関する誓約

当該業務の入札については、環境省入札心得において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約の上参加すること。なお、書面により入札する場合は、誓約事項に誓約する旨を入札書に明記することとし、電子調達システムにより入札した場合は、誓約事項に誓約したものとして取り扱うこととする。

9. その他

(1) 入札結果の公表

落札者が決定したときは、入札結果は、落札者を含め入札者全員の商号又は名称及び入札価格について、開札場において発表するとともに、北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所において閲覧資料として公表するものとする。

(2) 電子調達システムの操作及び障害発生時の問合せ先

政府電子調達システム（GEPS）ホームページアドレス <https://www.geps.go.jp/>

ヘルプデスク 0570-014-889（ナビダイヤル） 受付時間 平日 8 時 30 分～18 時 30 分

なお、障害発生により電子調達システムの操作ができない場合において、入札の締め切り時間が切迫している等、緊急を要する場合には、4.（1）の場所に一報すること。

(3) 契約締結日までに令和 5 年度の予算（暫定予算を含む。）が成立しなかった場合は、契約締結日は、予算が成立した日以降とする。

また、暫定予算になった場合、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とする場合がある。

◎ 添付資料

- ・別紙 1 環境省入札心得
- ・別添 1 契約書（案）
- ・別添 2 仕様書

令和 年 月 日

入札参加表明書（及び質問書）

分任支出負担行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 殿

住所
商号又は名称
代表者氏名

令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務に係る入札への参加を表明します。

※ 1. 令和 04・05・06 年度環境省競争参加資格書（全省庁統一資格）の審査結果通知書の写しを添付すること。

※ 2. 入札説明書に関する質問がある場合には、質問書（様式は任意）を添付すること。

担当者連絡先

部署名 :
担当者名 :
T E L :
F A X :
E-mail :

環境省入札心得 (物品役務 最低価格落札方式)

1. 趣旨

環境省の所掌する契約（工事に係るものを除く。）に係る一般競争又は指名競争（以下「競争」という。）を行う場合において、入札者が知り、かつ遵守しなければならない事項は、法令に定めるものの他、この心得に定めるものとする。

2. 入札説明書等

- (1) 入札者は、入札説明書及びこれに添付される仕様書、契約書案、その他の関係資料を熟読のうえ入札しなければならない。
- (2) 入札者は、前項の書類について疑義があるときは、関係職員に説明を求めることができる。
- (3) 入札者は、入札後、(1)の書類についての不明を理由として異議を申し立てることができない。

3. 入札保証金及び契約保証金

環境省競争参加資格（全省庁統一資格）を保有する者の入札保証金及び契約保証金は、全額免除する。

4. 入札書の書式等

入札者は、様式1による入札書を提出しなければならない。ただし、電子調達システムにより入札書を提出する場合は、同システムに定めるところによるものとする。

なお、入札説明書において「電子調達システムにより入札書を提出すること」と指定されている入札において、様式1による入札書の提出を希望する場合は、様式3による書面を作成し、入札説明書で指定された日時までに提出しなければならない。

5. 入札金額の記載

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

6. 入札書の提出

- (1) 入札書を提出する場合は、入札説明書において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約の上提出すること。なお、書面により入札する場合は、誓約事項に誓約する旨を入札書に明記することとし、電子調達システムにより入札した場合は、当面の間、誓約事項に誓約したものとして取り扱うこととする。
- (2) 書面による入札書は、封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその

名称又は商号)、宛名(分任支出負担行為担当官 北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所長殿と記載)及び「令和5年3月23日開札[令和5年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務]の入札書在中」と朱書きして、入札日時までに提出すること。また、競争参加資格を証明する書類を開札日時までに提出すること。

- (3) 電子調達システムにより入札する場合は、同システムに定める手続に従い、入札説明書で指定された日時までに入札書を提出すること。通信状況により提出期限内に電子調達システムに入札書が到着しない場合があるので、時間的余裕を持って行うこと。

7. 代理人等(代理人又は復代理人)による入札及び開札の立会い

代理人等により入札を行い又は開札に立ち会う場合は、代理人等は、様式4による委任状を持参しなければならない。また、代理人等が電子調達システムにより入札する場合には、同システムに定める委任の手続きを終了しておかなければならない。

8. 代理人等の制限

入札者又はその代理人等は、当該入札に係る他の入札者の代理人等を兼ねることができない。

9. 入札の無効

次の各項目の一に該当する入札は、無効とする。

- ① 競争に参加する資格を有しない者による入札
- ② 指名競争入札において、指名通知を受けていない者による入札
- ③ 委任状を持参しない又は電子調達システムに定める委任の手続きを終了していない代理人等による入札
- ④ 書面による入札において記名押印(外国人又は外国法人にあつては、本人又は代表者の署名をもって代えることができる。)を欠く入札
- ⑤ 金額を訂正した入札
- ⑥ 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- ⑦ 明らかに連合によると認められる入札
- ⑧ 同一事項の入札について他人の代理人を兼ね又は2者以上の代理をした者の入札
- ⑨ 入札者に求められる義務を満たすことを証明する必要がある入札にあつては、説明書が契約担当官等の審査の結果採用されなかった入札
- ⑩ 入札書の提出期限までに到着しない入札
- ⑪ 別紙において示す暴力団排除に関する誓約事項に誓約しない者による入札
- ⑫ その他入札に関する条件に違反した入札

10. 入札の延期等

入札参加者が相連合し又は不穩の行動をする等の場合であつて、入札を公正に執行することができない状態にあると認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し若しくはとりやめることがある。

11. 開札の方法

- (1) 開札は、入札者又は代理人等を立ち合わせて行うものとする。ただし、入札者又は代理人の立会がない場合は、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせて行うことができる。
- (2) 電子調達システムにより入札書を提出した場合には、入札者又は代理人等は、開札時刻に端末の前で待機しなければならない。
- (3) 入札者又は代理人等は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は委任状を提示しなければならない。
- (4) 入札者又は代理人等は、開札時刻後においては開札場に入場することはできない。
- (5) 入札者又は代理人等は、契約担当官等が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。
- (6) 開札をした場合において、予定価格の制限内の価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行うものとする。電子調達システムにおいては、再入札を行う時刻までに再度の入札を行うものとする。なお、開札の際に、入札者又は代理人等が立ち会わず又は電子調達システムの端末の前で待機しなかった場合は、再度入札を辞退したものとみなす。

12. 落札者となるべき者が2者以上ある場合の落札者の決定方法

当該入札の落札者の決定方法によって落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。なお、入札者又は代理人等が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

13. 落札決定の取消し

落札決定後であっても、入札に関して連合その他の事由により正当な入札でないことが判明したときは、落札決定を取消すことができる。

14. 契約書の提出等

- (1) 落札者は、契約担当官等から交付された契約書に記名押印（外国人又は外国法人が落札者である場合には、本人又は代表者が署名することをもって代えることができる。）し、落札決定の日から10日以内（期終了の日が行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する日に当たるときはこれを算入しない。）に契約担当官等に提出しなければならない。ただし、契約担当官等が必要と認めた場合は、この期間を延長することができる。
- (2) 落札者が前項に規定する期間内に契約書を提出しないときは、落札は、その効力を失う。

15. 契約手続において使用する言語及び通貨

契約手続において使用する言語は日本語とし、通貨は日本国通貨に限る。

別紙

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記事項について、入札書（見積書）の提出をもって誓約いたします。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、官側の求めに応じ、当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。）。ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名及び生年月日の一覧表）及び登記簿謄本の写しを提出すること並びにこれらの提出書類から確認できる範囲での個人情報警察に提供することについて同意します。

記

1. 次のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。

（1）契約の相手方として不適当な者

ア 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

（2）契約の相手方として不適当な行為をする者

ア 暴力的な要求行為を行う者

イ 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

ウ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

エ 偽計又は威力を用いて会計課長等の業務を妨害する行為を行う者

オ その他前各号に準ずる行為を行う者

2. 暴力団関係業者を再委託又は当該業務に関して締結する全ての契約の相手方としません。

3. 再受任者等（再受任者、共同事業実施協力者及び自己、再受任者又は共同事業実施協力者が当該契約に関して締結する全ての契約の相手方をいう。）が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。

4. 暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は再受任者等が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、発注元の契約担当官等へ報告を行います。

入 札 書

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

(復) 代理人

注) 代理人又は復代理人が入札書を持参して入札
する場合に、(復) 代理人の記名が必要。

下記のとおり入札します。

記

- 1 入札件名 : 令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理
等業務
- 2 入札金額 : 金 _____ 円
- 3 契約条件 : 契約書及び仕様書その他一切貴省の指示のとおりとする。
- 4 誓約事項 : 暴力団排除に関する誓約事項に誓約する。

担当者等連絡先

部 署 名 :

責任者名 :

担当者名 :

T E L :

F A X :

E-mail :

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

電子入札案件の電子入札方式での参加について

下記入札案件について、電子調達システムを利用して入札に参加をいたします。

記

入札件名：令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等
業務

担当者等連絡先

部 署 名：

責任者名：

担当者名：

T E L：

F A X：

E-mail：

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

電子入札案件の紙入札方式での参加について

下記入札案件について、電子調達システムを利用して入札に参加できないので、紙入札方式での参加をいたします。

記

- 1 入札件名：令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務
- 2 電子調達システムでの参加ができない理由
(記入例) 電子調達システムで参加する手続が完了していないため

担当者等連絡先

部 署 名：

責任者名：

担当者名：

T E L：

F A X：

E-mail：

委 任 状

令和 年 月 日

分任支出負擔行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 殿

住所
(委任者) 会社名
代表者氏名

代理人住所
(受任者) 所属(役職名)
氏 名

当社を代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

- 1 令和５年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務の入札に関する一切の件
- 2 １の事項にかかる復代理人を選任すること。

担当者等連絡先

部署名：

責任者名：

担当者名：

T E L :

F A X :

E-mail :

委 任 状

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 殿

代理人住所
(委任者) 所属(役職名)
氏 名

復代理人住所
(受任者) 所属(役職名)
氏 名

当社 を復代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務の入札に
関する一切の件

担当者等連絡先

部 署 名 :

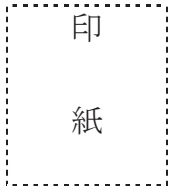
責任者名 :

担当者名 :

T E L :

F A X :

E - m a i l :



契 約 書 (案)

分任支出負担行為担当官 北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所長 川越 久史
(以下「甲」という。)は、

(以下「乙」という。)と
「令和5年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務」(以下
「業務」という。)について、次の条項により契約を締結する。

(契約の内容)

第1条 乙は、別添の仕様書に基づき業務を行うものとする。

(契約金額)

第2条 契約金額は金 円(うち消費税及び地方消費税の額 円)
とする。

(履行期限及び納入場所)

第3条 履行期限及び納入場所は次のとおりとする。

履行期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

納入場所 北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所阿寒摩周国立公園管理事務所

(契約保証金)

第4条 甲は、この契約の保証金を免除するものとする。

(再委任等の制限)

第5条 乙は、業務の処理を他人(乙の子会社(会社法(平成17年法律第86号)第2
条第3号に規定する子会社をいう。))である場合も含む。)に委託し、又は請け負わせ
てはならない。但し、書面により甲の承諾を得たときはこの限りではない。

(監督)

第6条 乙は、甲の指示監督により業務を行うものとする。

2 業務の遂行にあたって疑義又は不明の点が生じたときは、甲の指示に従うものとする。

(検査及び引渡し)

第7条 乙は、業務の全部を完了したときは業務終了報告書を作成し、その旨を書面によ
り甲に通知しなければならない。

2 甲は、前項の通知を受けたときは、その日から10日以内に検査を行い、検査に合格
した後、乙が成果物の引渡しを申出たときは、直ちにその引渡しを受けなければなら
ない。

3 乙は、前項の検査に合格しないときは直ちに修補して甲の検査を受けなければなら
ない。この場合においては、前項の期間は甲が乙から修補を終了した旨の通知を受けた日

から起算する。

（契約金額の支払い）

第8条 乙は、前条第2項の検査に合格したときは、契約金額（この契約の締結後、契約金額の変更があった場合には、変更後の契約金額。以下同じ。）の支払いを請求するものとする。

2 甲は、前項の規定による請求を受けたときは、その日から起算して30日以内（以下「約定期間」という。）に契約金額を支払わなければならない。

（支払遅延利息）

第9条 甲は、第8条の約定期間内に契約金額を乙に支払わない場合は、約定期間満了の日の翌日から支払いをする日までの日数に応じ、契約金額に対し、政府契約の支払遅延に対する遅延利息の率を定める告示により財務大臣が決定する率を乗じて計算した金額を遅延利息として乙に支払わなければならない。ただし、約定期間内に支払わないことが、天災地変等甲の責に帰すことのできない事由によるときは、当該事由の継続する期間は、遅延利息の算定日数に算入しないものとする。

（仕様書等の変更）

第10条 甲は、必要があると認めるときは、仕様書等の変更内容を乙に通知して、仕様書等を変更することができる。この場合において、甲は、必要があると認められるときは履行期限若しくは契約金額を変更し、又は乙に損害を及ぼしたときは必要な費用を負担しなければならない。

（業務の中止）

第11条 天災地変その他止むを得ない事由により、業務の遂行が困難となったときは、乙は、甲と協議の上契約の解除を行うものとする。

2 前項の規定により契約を解除するときは、第7条から第9条までの規定に準じ精算する。

（契約の解除）

第12条 甲は、次の各号の一に該当するときは、催告することなくこの契約の全部又は一部を解除することができる。

一 乙の責に帰する事由により、乙がこの契約の全部又は一部を履行する見込みがないと認められるとき。

二 乙が第5条、第19条又は第19条の2若しくは第20条の規定に違反したとき。

三 乙又はその使用人が甲の行う監督及び検査に際し不正行為を行い、又は監督官等の職務の執行を妨げたとき。

四 履行期限内に業務終了報告書の提出がなかったとき。

2 甲は、乙が次の各号の一に該当すると認められるときは、催告することなくこの契約を解除することができる。

一 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法

第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき。

- 二 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。
 - 三 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。
 - 四 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき。
 - 五 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。
- 3 甲は、乙が自ら又は第三者を利用して次の各号の一に該当する行為をした場合は、催告することなくこの契約を解除することができる。
- 一 暴力的な要求行為
 - 二 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - 三 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - 四 偽計又は威力を用いて甲等の業務を妨害する行為
 - 五 その他前各号に準ずる行為

(再受任者等に関する契約解除)

- 第13条 乙は、契約後に再受任者等(再受任者及び共同事業実施協力者並びに乙、共同事業実施協力者又は再受任者が当該契約に関して個別に契約する場合の当該契約の相手方をいう。以下同じ。)が第12条第2項及び第3項の一に該当する者(以下「解除対象者」という。)であることが判明したときは、直ちに当該再受任者等との契約を解除し、又は再受任者等に対し契約を解除させるようにしなければならない。
- 2 甲は、乙が再受任者等が解除対象者であることを知りながら契約し、若しくは再受任者等の契約を承認したとき、又は正当な理由がないのに前項の規定に反して当該再受任者等との契約を解除せず、若しくは再受任者等に対し契約を解除させるための措置を講じないときは、催告することなくこの契約を解除することができる。

(違約金等)

- 第14条 甲が第12条又は前条第2項の規定により契約の全部又は一部を解除した場合は、乙は契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。
- 2 次に掲げる者が契約を解除した場合は、乙は契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。
- 一 乙について破産手続開始の決定があった場合において、破産法(平成16年法律第75号)の規定により選任された破産管財人
 - 二 乙について更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法(平成14年法律第154号)の規定により選任された管財人
 - 三 乙について再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法(平成11年法律第225号)の規定により選任された再生債務者等
- 3 乙が、次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、乙は、甲の請求に基づき、契約金額の100分の10に相当する額を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。
- 一 この契約に関し、乙が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。)第3条の規定に違反し、又は乙が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第8条第1号の規定に違反したことにより、

公正取引委員会が乙に対し、独占禁止法第7条の2第1項（独占禁止法第8条の3において準用する場合を含む。）の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付命令」という。）を行い、当該納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第63条第2項の規定により取り消された場合を含む。）。

二 納付命令又は独占禁止法第7条若しくは第8条の2の規定に基づく排除措置命令（これらの命令が受注者又は受注者が構成事業者である事業者団体（以下「乙等」という。）に対して行われたときは、乙等に対する命令で確定したものをいい、乙等に対して行われていないときは、各名宛人に対する命令全てが確定した場合における当該命令をいう。次号において「納付命令又は排除措置命令」という。）において、この契約に関し、独占禁止法第3条又は第8条第1号の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

三 納付命令又は排除措置命令により、乙等に独占禁止法第3条又は第8条第1号の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示された場合において、この契約が、当該期間（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が乙に対し納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行われたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。

四 この契約に関し、乙（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の6又は独占禁止法第89条第1項若しくは第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき。

4 乙が前二項の違約金を甲の指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、年3パーセントの割合で計算した額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

5 第1項、第2項及び第3項の規定は、甲に生じた実際の損害の額が違約金の額を超える場合において、甲がその超える分の損害を損害金として請求することを妨げない。

（損害賠償）

第15条 甲は、第12条又は第13条第2項の規定によりこの契約を解除した場合は、これにより乙に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することは要しない。

（表明確約）

第16条 乙は、第12条第2項及び第3項のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを確約する。

2 乙は、解除対象者を再受任者等としないことを確約する。

（不当介入に関する通報・報告）

第17条 乙は、自ら又は再受任者等が、暴力団、暴力団員、社会運動・政治運動標ぼうゴロ等の反社会的勢力から不当要求又は業務妨害等の不当介入（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、これを拒否し、又は再受任者等をして、これを拒否させるとともに、速やかに不当介入の事実を甲に報告するとともに、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うものとする。

（担保責任）

第18条 甲は、第7条の規定により引渡しを受けた後1年以内に契約の内容に適合しな

いものであることを発見したときは、契約不適合である旨を乙に通知し、修補又は既に支払った契約金額の一部を返還させることができるものとする。

(秘密の保全)

第19条 乙は、この契約の履行に際し知得した相手方の秘密を第三者に洩らし又は他の目的に利用してはならない。

(個人情報の取扱い)

第19条の2 乙は、甲から預託された個人情報（生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述又は個人別に付された番号、記号その他の符号により当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む。）をいう。）及び特定個人情報（マイナンバー（個人番号）をその内容に含む個人情報をいう。）（以下、「個人情報」という。）については、善良なる管理者の注意をもって取り扱わなければならない。

2 乙は、甲から預託された個人情報を取り扱わせる業務を再委任等する場合は、事前に甲の承認を得るとともに、本条に定める、甲が乙に求めた個人情報の適切な管理のために必要な措置と同様の措置を当該再受任者等も講ずるように求め、かつ当該再受任者等が約定を遵守するよう書面で義務づけなければならない、承認を得た再受任者等の変更及び再受任者等が再々委任等を行う場合についても同様とする（以下、承認を得た再受任者等を単に「再受任者等」という。）。

3 乙は、前項の承認を受けようとする場合は、あらかじめ書面により甲の承諾を得なければならない。

4 乙は個人情報の取扱いに係る業務を派遣労働者によって行わせる場合には、労働者派遣契約書に秘密保持義務等個人情報の取扱いに関する事項を明記しなければならない。

5 乙は、個人情報を取り扱う従事者の明確化、従事者に対する監督・教育を行うものとする。

6 乙は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、事前に甲の承認を得た場合はこの限りでない。

一 甲から預託された個人情報を第三者（前項記載の書面の合意をした再受任者等を除く。）に提供し、又はその内容を知らせること。

二 甲から預託された個人情報について、甲が示した利用目的（特に明示がない場合は本契約の目的）の範囲を超えて使用し、複製し、又は改変すること。

三 特定個人情報を取り扱う業務において、乙（再受任者等があるときは再受任者等を含む。）の事務所、事業場等から外部に特定個人情報を持ち出すこと。

7 乙は、甲から預託された個人情報を取り扱う場合には、責任者及び取扱者の管理及び実施体制、個人情報の管理の状況についての検査に関する事項等の必要な事項について定めた書面を甲に提出するとともに、個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止その他の個人情報の適切な管理（再受任者等による管理を含む。）のために必要な措置を講じなければならない。

8 甲は、個人情報の秘匿性等その内容やその量等に応じて必要があると認めるときは、所属の職員に、乙（再受任者等があるときは再受任者等を含む。）の事務所、事業場等において、甲が預託した個人情報の管理が適切に行われているか等について実地検査等の調査をさせ、乙に対し必要な指示をさせることができる。

9 乙は、業務の完了又は契約解除等により、甲が預託した個人情報が含まれる紙媒体及

び電子媒体（これらの複製を含む。）が不要になった場合には、速やかに甲に返却又は破砕、溶解及び焼却等の方法により個人情報を復元困難及び判読不可能な方法により廃棄若しくは消去し、その旨を書面により甲に報告しなければならない。ただし、甲が別段の指示をしたときは、乙はその指示に従うものとする。

10 乙は、甲から預託された個人情報の漏えい、滅失、毀損、不正使用、その他本条に違反する事実を認識した場合には、直ちに自己の費用及び責任において被害の拡大防止等のため必要な措置を講ずるとともに、甲に当該事実が発生した旨、並びに被害状況、復旧等の措置及び本人（個人情報により識別されることとなる特定の個人）への対応等について直ちに報告しなければならない。また、甲から更なる報告又は何らかの措置・対応の指示を受けた場合には、乙は当該指示に従うものとする。

11 乙は、甲から預託された個人情報以外に、業務に関して自ら収集又は作成した個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）に基づいて取り扱うこととし、甲が別段の指示をしたときは当該指示に従うものとする。

12 乙は、乙又は再受任者等の責めに帰すべき事由により、業務に関連する個人情報（甲から預託された個人情報を含む。）の漏えい、滅失、毀損、不正使用、その他本条に係る違反等があった場合は、これにより甲又は第三者に生じた一切の損害について、賠償の責めを負う。

13 本条の規定は、本契約又は業務に関連して乙又は再受任者等が甲から預託され、又は自ら取得した個人情報について、業務を完了し、又は解除その他の理由により本契約が終了した後であっても、なおその効力を有する。

（債権譲渡の禁止）

第20条 乙は、この契約によって生じる権利又は義務の全部若しくは一部を甲の承諾を得た場合を除き第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令（昭和25年政令第350号）第1条の3に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りではない。

（紛争又は疑義の解決方法）

第21条 この契約について、甲乙間に紛争又は疑義を生じた場合には、必要に応じて甲乙協議して解決するものとする。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

甲 住 所 北海道釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 4 階

氏 名 分任支出負担行為担当官
北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長 川越 久史 印

乙 住 所

氏 名 印

令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務
に係る仕様書

1. 件名

令和 5 年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務

2. 業務の目的

阿寒摩周国立公園川湯地域における主要な利用拠点である川湯集団施設地区及び和琴集団施設地区において、園地、公衆便所等施設の基礎的な維持管理業務を行い、利用者に対する利便性・快適性を確保することを目的とする。

3. 業務の内容

業務実施にあたっては、供用期間前に別紙に定める様式（様式 1）により業務実施体制表を環境省担当官（以下「担当官」という。）宛に提出すること。

(1) 業務の対象となる区域

阿寒摩周国立公園内川湯集団施設地区（図 1）及び和琴集団施設地区（図 2）

(2) 刈払い

令和 5 年 6 月から 10 月にかけて、図 3 及び図 4 に示す範囲について刈払機により刈払いを行う。集団施設地区毎に 9 回程度実施し、川湯集団施設地区では 1 回当たり 6 人日、和琴集団施設地区では 1 回当たり 3 人日程度の作業量を見込む。なお、実施に当たっては芝の生育状況を考慮することとし、集団施設地区利用者の安全確保や周辺の立木の損傷防止等に留意すること。特に、施設や車両に対しては、小石等の飛散防止措置をとること。

(3) 落葉落枝除去

令和 5 年 9 月から 11 月にかけて、熊手等を用いて園地内に堆積した落葉落枝を除去する。集団施設地区毎に 16 回程度実施し、川湯及び和琴ともに 1 回当たり 1 人日程度の作業量を見込む。なお、実施に当たっては落葉落枝の堆積状況を考慮し、特に堆積が多い時期には重点的に実施するよう留意すること。

(4) 巡視

令和 5 年 4 月から令和 6 年 3 月にかけて、定期的に巡視を行う。巡視の頻度は集団施設地区毎に以下の通り行うこととし、1 回あたり 1 人日程度の作業量を見込む。巡視に当たっては、以下の作業を行うこととする。

巡視頻度：令和 5 年 4 月から令和 5 年 10 月まで 週 1 回

令和 5 年 11 月から令和 6 年 3 月まで 月 1 回

なお、暴風雨や暴風雪等の悪天候により倒木の発生や設備の汚損等が見込まれる場合には、担当官に指示を仰いだ上で、悪天候が収まった後に緊急巡視を行うこと（上記巡視頻度の回数に加え、年間 3 回程度を見込む）。

ア. 危険木点検

園地等内、特に利用者が通行、駐車、滞在する場所や建築物その他の施設に面する箇所において、枯損や芯腐れ等により倒壊又は落枝が懸念される樹木の有無を点検し記録する。これら樹木のうち、利用者の安全のために早急に伐採、枝落とし等を検討すべき樹木（以下「危険木」という。）をについては、当該危険木にテープ

等でマーキングするとともに写真及び位置を記録し、速やかに担当官に報告した上で、その指示に従って注意喚起その他の安全対策措置を行うこと。危険木の処理が必要となった場合は、担当官の指示に従って専門業者より見積書を徴収して担当官に提出すること。

イ. 施設点検

表1に示す施設について汚損／破損状況の確認を行う。供用上の支障がある施設を確認した場合、写真及び位置を記録するとともに速やかに担当官に報告すること。また、危険な破損箇所を確認した場合、ただちに担当官に報告し、その指示に従って注意喚起その他の安全対策措置を行うこと。修繕等が必要となった場合は、担当官の指示に従って専門業者より見積書を徴収して担当官に提出すること。

ウ. 利用状況の確認

利用者の利用状況について確認を行う。危険な行為、違法な行為をしている利用者を確認した場合、請負者の身に危険が及ばない範囲で聞き取り等を行い、悪質な者であると認められた場合は、速やかに担当官に報告すること。

(5) 清掃（便所以外）

令和5年5月から11月にかけて、各集団施設地区において利用者により排出されたゴミや周辺地域から飛来等したゴミを拾い取り、関係法令を遵守して適正に処分する。和琴集団施設地区では利用者の多い7月から9月にかけて毎月9回程度、その他の月には6回程度、合計で50回程度実施する。川湯集団施設地区では7月から9月にかけて毎月6回程度、その他の月に4回程度、合計で35回程度実施する。1回当たり1人日程度の作業量を見込む。清掃の実施に当たっては、特に人目に付きやすい時間や場所でも行うようにする等、投棄防止に係る普及啓発の効果が期待できるよう工夫すること。

(6) 公衆トイレ管理

ア. 業務の対象とする公衆トイレ

(ア) 川湯園地公衆トイレ

所在地：北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2丁目

供用期間：令和5年4月15日（土）から令和5年10月29日（日）まで

供用時間：午前8時から午後5時まで（供用時間外は施錠）

ただし、利用者に対する利便性・快適性を向上させることを目的として、担当官が別途指示した場合は、その指示に従い解錠／施錠すること。なお、共用期間開始前日及び後日に清掃を実施すること。

清掃対象延床面積：44.82 m²

処理方式：合併浄化槽（接触ばっ気方式）

(イ) 和琴ロータリー前公衆トイレ

所在地：北海道川上郡弟子屈町屈斜路和琴

供用期間：通年

ただし、男子トイレには暖房が付いておらず水道管凍結のおそれがあることから、11月から4月にかけては閉鎖し、女子トイレを男女兼用として開放する。

清掃対象延床面積：32.96 m²（11月から4月は20.26 m²）

処理方式：汲取り

(ウ) 和琴キャンプ駐車場公衆トイレ

所在地：北海道川上郡弟子屈町屈斜路和琴

供用期間：令和5年4月15日（土）から令和5年10月29日（日）まで
なお、供用開始前日及び後日に清掃を実施すること。

清掃対象延床面積：44.82 m²（うち機械室 4.86 m²）

処理方式：合併浄化槽（接触ばっ気方式）

イ．施設清掃

実施する作業は日常清掃、日常巡回清掃及び定期清掃とし、以下に掲げる事項の他、『建築保全業務共通仕様書 平成30年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部』を適用する。

（ア）日常清掃及び日常巡回清掃は原則として本施設供用日の午前8時から午後5時までに実施すること。ただし、必要に応じて時間を変更することができる。

（イ）定期清掃は表面洗浄を行うこととし、原則として毎月1回（毎月末を想定）、午前8時から午後5時までに実施すること。ただし、必要に応じて時期を変更することができる。

（ウ）便所の排水管につまりが生じた場合は、人力により速やかに清掃する。人力による対応が困難な場合は速やかに担当官に報告すること。

ウ．浄化槽及び汲取槽の点検

（ア）浄化槽から異音や異臭が確認されたら、速やかに担当官に報告する。

（イ）汲取りの場合は、便槽内の貯留状況の報告を適宜担当官に行う。なお、便槽が満杯になっているときは速やかに担当官に連絡すること。

（7）フットライト及びスノーボールの設置及び撤去

ア．フットライトの設置及び撤去

川湯集団施設地区内の図1に示す位置において、環境省が用意するフットライトを設置、撤去する。設置は令和5年4月上旬を、撤去は令和5年11月上旬をめどに行うこと。設置と撤去ともに0.25人日程度の作業量を見込む。ただし、積雪期間が想定から前後した場合の設置及び撤去時期については、担当官と協議しその指示に従うこと。

イ．スノーボールの設置及び撤去

川湯集団施設地区内の駐車場及び車道（図1）において、環境省が用意するスノーボールを設置、撤去する。設置は令和5年11月上旬を、撤去は令和6年3月下旬をめどに行うこと。設置と撤去ともに2.0人日程度の作業量を見込む。ただし、積雪期間が想定から前後した場合の設置及び撤去時期については、担当官と協議しその指示に従うこと。

（8）月報の提出

業務の実施に当たっては、別紙に定める様式により月報（様式2および3）を作成し、毎翌月10日までに担当官に電子データにより提出すること。なお、3月実施分については、3月31日までに提出すること。

ただし、特に報告すべき事項があった場合は、月報によらず、速やかに担当官に報告すること。

（9）機械の貸付

業務の実施に当たって発者が必要であると認める場合に限り、以下の請負者は表2の機械の貸付を受けることができる。但し、貸付に当たっては、以下の諸条件を満たすこと。

- ア. 請負者は、管理責任者を定めて貸付期間中善良な管理をしなければならない。
- イ. 請負者は貸付機械の使用に当たっては、次の各号に掲げる事項に注意し、常に担当官の指示に従い機械の機能保持に努めなければならない。
- (ア) 貸付機械を亡失、き損等のおそれのない場所に格納する等、保管に万全を期すること。なお、必要に応じて、和琴フィールドハウス倉庫の使用を認める。
- (イ) 貸付機械を使用目的以外の用途に使用しないこと。
- (ウ) 定期点検整備及び日常の点検整備を完全を実施すること。
- (エ) 整備工については、当該機械に精通した熟練者を充てること。
- (オ) 貸付機械の運転に熟練した者に使用させること。
- (カ) 貸付機械の引き渡し及び返納、管理その他良好な状態に維持するために必要な費用の一切は請負者の負担とすること。
- (10) 業務の実施に当たっての留意事項
- ア. 業務の実施に当たっては、善良な管理者の注意をもって誠実にこれを行い、特に利用者の利用上の支障は最小限に留めるよう配慮すること。
- イ. 業務に従事する者は、制服、腕章、ワッペン、名札等により業務従事者である旨を明らかにすること。
- ウ. 業務実施のために借用した鍵は、慎重に取扱い、業務に必要な時間と場所に限り使用すること。
- エ. 業務に用いる資機材については、受注者において負担すること。ただし、衛生消耗品は表3を参考に必要に応じて調達すること。
- オ. 破損箇所等を発見した場合、不足の事態が生じた場合には、速やかに担当官に報告し、その指示を受けること。
- カ. 施設の補修及び維持作業（枝払い、倒木処理）は、本業務には含まない。

4. 業務履行期限

令和5年4月1日（土）から令和6年3月31日（日）

5. 成果物

紙媒体：報告書 2部（A4判 50頁程度）

報告書等の仕様及び記載事項等は、別添によるほか、以下の点を踏まえて作成すること。

- ・「3. 業務の内容」に挙げる各業務について、年間を通して実施した回数および人日が分かるように集計する
- ・各月の月報をまとめて添付する
- ・その他、月報に記載されていないが特筆すべき事項がある場合、適宜報告書に記載する

提出場所 北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所
阿寒摩周国立公園管理事務所

6. 著作権等の扱い

- (1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、納品の完了をもって請負者から環境省に譲渡されたもの

とする。

- (2) 請負者は、自ら制作・作成した著作物に対し、いかなる場合も著作権者人格権を行使しないものとする。
- (3) 成果物の中に請負者が権利を有する著作物等（以下「既存著作物」という。）が含まれている場合、その著作権は請負者に留保されるが、可能な限り、環境省が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、無償で既存著作物の利用を許諾する。
- (4) 成果物の中に第三者の著作物が含まれている場合、その著作権は第三者に留保されるが、請負者は可能な限り、環境省が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、第三者から利用許諾を取得する。
- (5) 成果物納品の際には、第三者が二次利用できる箇所とできない箇所の区別がつくように留意するものとする。
- (6) 納入される成果物に既存著作物等が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。

7. 情報セキュリティの確保

請負者は、下記の点に留意して、情報セキュリティを確保するものとする。

- (1) 請負者は、請負業務の開始時に、請負業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制について担当官に書面で提出すること。
- (2) 請負者は、担当官から要機密情報を提供された場合には、当該情報の機密性の格付けに応じて適切に取り扱うための措置を講ずること。
また、請負業務において請負者が作成する情報については、担当官からの指示に応じて適切に取り扱うこと。
- (3) 請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて担当官の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。
- (4) 請負者は、担当官から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。
また、請負業務において請負者が作成した情報についても、担当官からの指示に応じて適切に廃棄すること。
- (5) 請負者は、請負業務の終了時に、本業務で実施した情報セキュリティ対策を報告すること。

(参考) 環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

8. その他

請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難しい事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、担当官と速やかに協議しその指示に従うこと。

(別添)

1. 報告書等の仕様及び記載事項

報告書等の仕様は、契約締結時においての国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号）第 6 条第 1 項の規定に基づき定められた環境物品等の調達の推進に関する基本方針の「印刷」の判断の基準を満たすこと。

なお、「資材確認票」及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

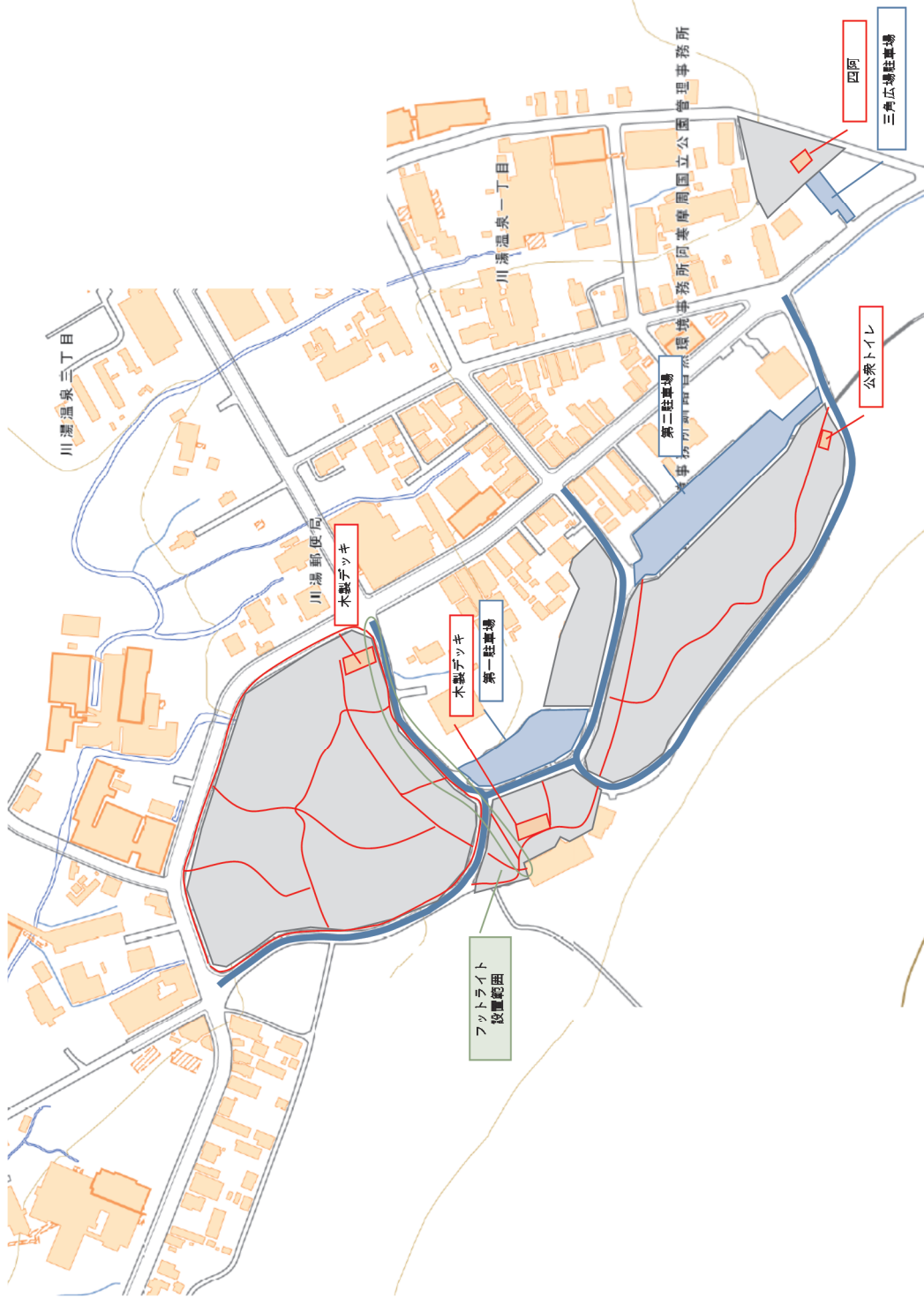
この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は担当官と協議の上、基本方針（<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>）を参考に適切な表示を行うこと。

2. その他

成果物納入後に請負者側の責めによる不備が発見された場合には、請負者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

図 1



凡例

- 車道
- 園路
- 園地
- 駐車場
- その他施設

図 2

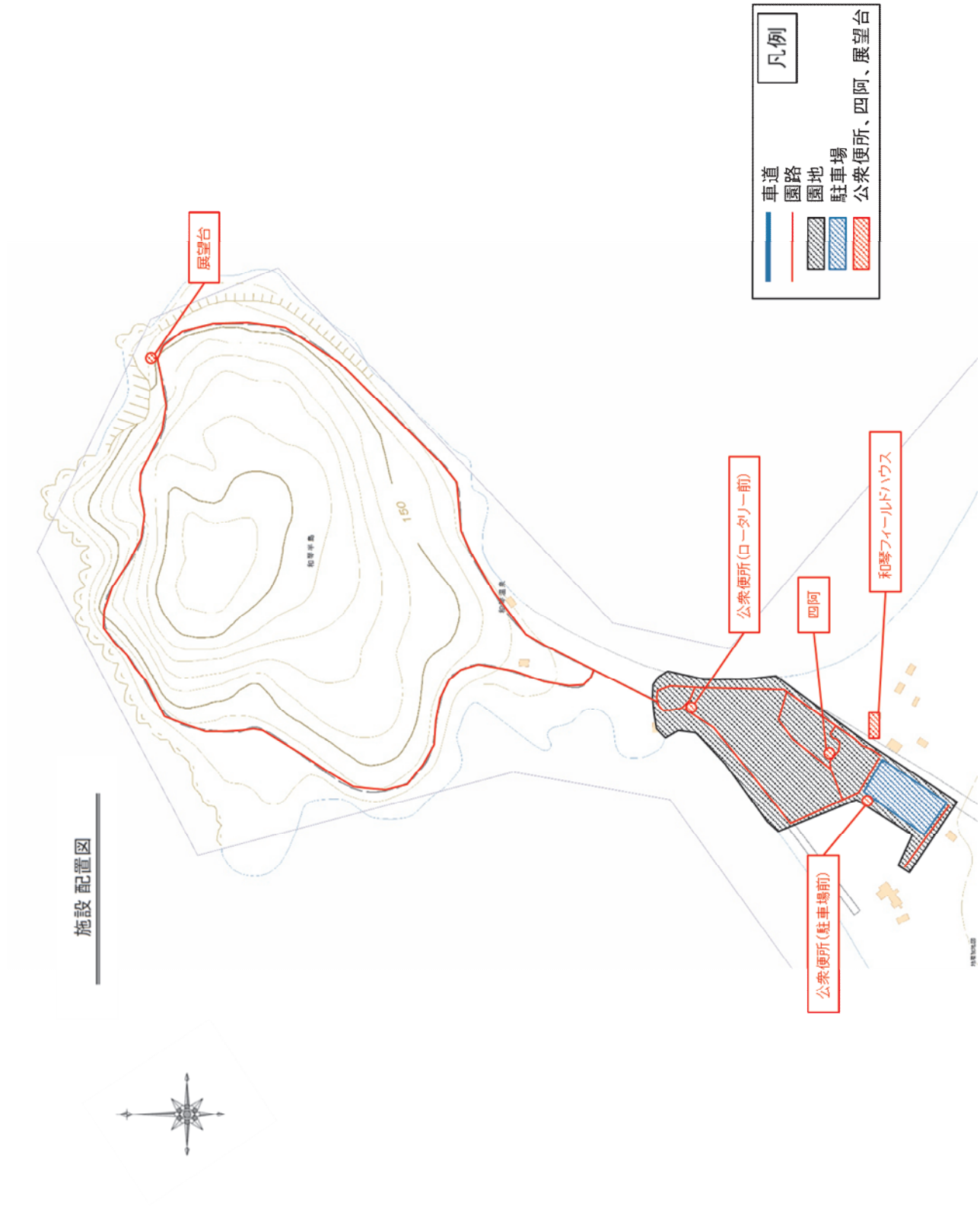




図 3 範囲図

図 4

刈払範囲図(和琴)



○集団施設地区 施設一覧

表 1

集団施設地区	事業施設名	規模	付帯施設
川湯（図 1）	川湯園地	54,000 m ²	・園路（木道含） ・第一駐車場 ・第二駐車場 ・三角広場駐車場 ・公衆便所 ・標識 ・卓ベンチ ・四阿 ・フットライト ・スノーポール
和琴（図 2）	和琴園地	50,000 m ²	・駐車場 ・公衆便所（ロータリー前） ・公衆便所（駐車場前） ・標識 ・卓ベンチ ・四阿
	和琴道路（歩道）	2.45km	・標識 ・ベンチ ・展望台

○貸付機械一覧

表 2

種類	メーカー	品番等
乗用型芝刈機	ホンダ	H 3 0 1 3 H
自走式芝刈機	ホンダ	H R G 4 1 6
肩掛式刈払機	マキタ	M E M 4 3 4 T
ブロワー	マキタ	E U B 4 7 6 0
チェーンソー	マキタ	M D E 4 3 0

○衛生消耗品一覧

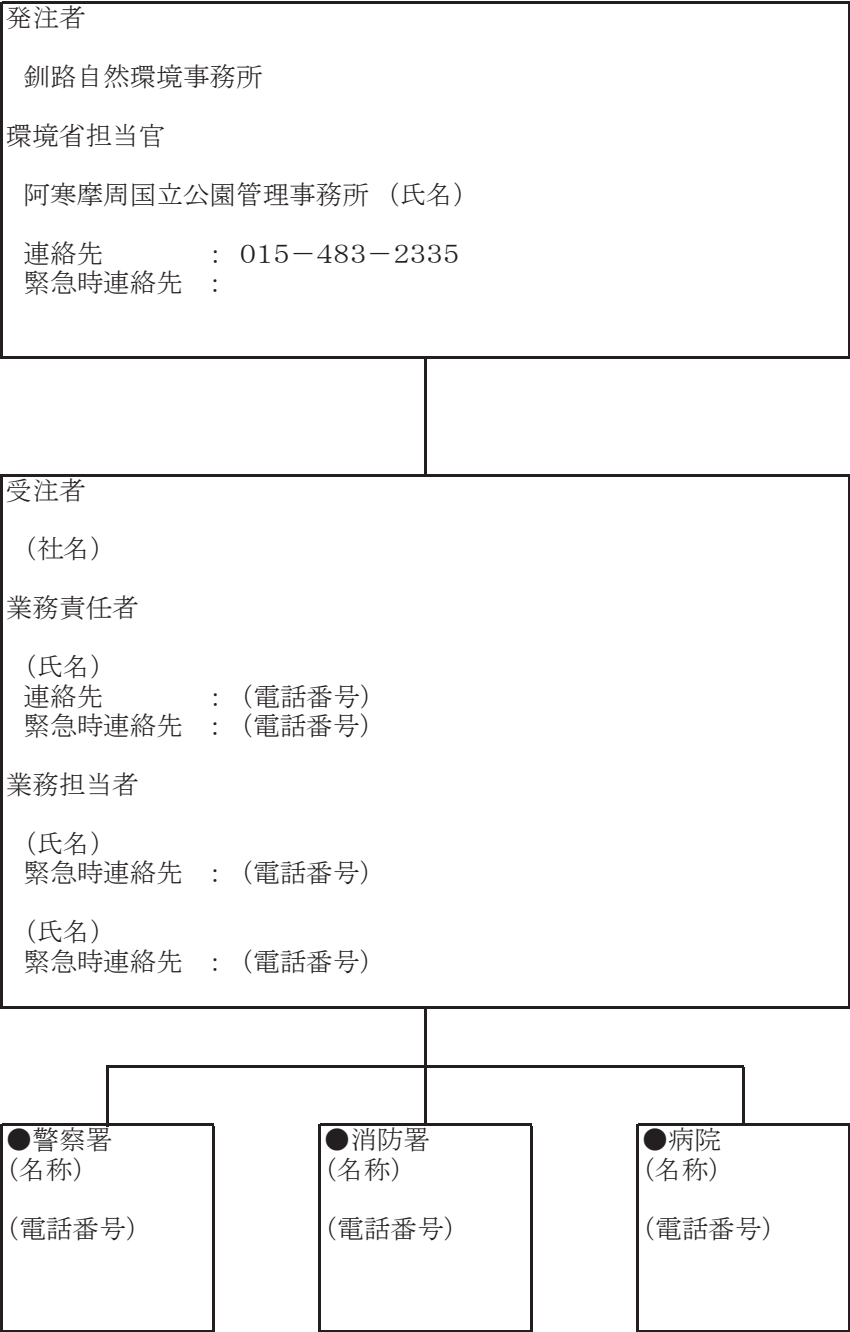
表 3

設置が必要な衛生消耗品	想定数（過年度実績を参考に算出）	備考
トイレットペーパー	約 3,000 個/年	
消臭剤（小便器用）	約 15 個/年	小便器総数 10 基

業務実施体制表

[令和5年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務]

(緊急時連絡体制)



月 報

(刈払い、落葉落枝除去、巡視、清掃(便所以外))

[令和5年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務]

(令和 年度 月分)

- ①刈払い
- ②落葉落枝除去
- ③巡視
- ④清掃 (便所以外)

				作業内容						作業内容	
日	曜日	天候	作業人員	川湯	和琴	日	曜日	天候	作業人員	川湯	和琴
1				①		17					
2				②		18					
3				③		19					
4				④		20					
5				①②		21					
6				① ③		22					
7				① ④		23					
8				②③		24					
9				② ④		25					
10				③④		26					
11				①②③		27					
12				①② ④		28					
13				②③④		29					
14				①②③④		30					
15						31					
16											

※ 記載内容に不足が生じない範囲で、編集又は別様式を用いても良いこととする。
※ 特記事項がある場合は、別紙にて資料を作成し、添付すること。

月 報
(公衆トイレ管理)

[令和5年度阿寒摩周国立公園川湯及び和琴集団施設地区内施設維持管理等業務]

(令和 5 年度 月分)

- ① 日常清掃
② 日常巡回清掃
③ 定期清掃

				作業内容							作業内容		
日	曜日	天候	作業人員	川湯園地	和琴ロータリー前	和琴キャンプ駐車場	日	曜日	天候	作業人員	川湯園地	和琴ロータリー前	和琴キャンプ駐車場
1				①			17						
2				②			18						
3				③			19						
4				①②			20						
5				① ③			21						
6				②③			22						
7				①②③			23						
8							24						
9							25						
10							26						
11							27						
12							28						
13							29						
14							30						
15							31						
16													

※ 記載内容に不足が生じない範囲で、編集又は別様式を用いても良いこととする。
※ 特記事項がある場合は、別紙にて資料を作成し、添付すること。